

CEのための

“今さら聞けない”

解剖生理

Q&A

安全・安心に医療機器を使用できるよう、臨床工学技士は医療機器のスペシャリストとして、使用前の点検、その後の導入・操作、使用中・使用後の点検、定期的なメンテナンスをして医療を支えています。臨床工学技士には工学的知識はもちろんですが、医療機器は患者の病態を踏まえて使用されるため、「患者を診る」という視点から、生体の基本的な解剖生理や病態についての知識も必要不可欠です。

本号では、臨床工学技士の業務に特に関連する呼吸器系・泌尿器系(腎臓)・循環器系・消化器系の解剖生理の基本について、Q & A 形式でイラストを用いて解説します。また、臨床につながるポイントや工学的視点については囲み記事「つなげて理解!」で補足しました。

医療機器を使用する患者を知るための一歩、またはおさらいとして、ご活用いただけますと幸いです。

クリニカルエンジニアリング編集室編

■引用・参考文献

- 1) 堀川宗之：エッセンシャル解剖・生理学 改訂第3版, p117, 122, 123, 137, 138, 143, 144, 158, 159, 160, 166, 172, 173, 180, 181, 学研メディカル秀潤社, 2020
- 2) 落合慈之(監), 石原照夫(編)：呼吸器疾患ビジュアルブック, 学研メディカル秀潤社, 2011
- 3) 落合慈之(監), 渋谷祐子, 志賀淑之(編)：腎・泌尿器疾患ビジュアルブック 第2版, 学研メディカル秀潤社, 2017
- 4) 落合慈之(監), 山崎正雄, 柴田 講(編)：循環器疾患ビジュアルブック 第2版, 学研メディカル秀潤社, 2017
- 5) 落合慈之(監), 針原 康, 松橋信行, 小西敏郎(編)：消化器疾患ビジュアルブック 第2版, 学研メディカル秀潤社, 2014